

地域課題への対応策検討内容

ケース 1

1 地域課題

住環境が劣悪な状況かつ地域との関わりに否定的で安否確認やサービスの導入が困難な方に対する関わり方

2 地域課題の対応の現状

(1) 地域との関わりに否定的な場合

- ・保健センターの保健師と地域包括支援センター職員が同行訪問し、生活実態確認
- ・配食サービスや緊急通報システムなどの市の在宅サービスでの見守り
- ・個別地域ケア会議などで関係機関の見守りネットワークの構築

(2) 住環境が劣悪な状況のため、安否確認やサービス導入が困難な場合

- ・事業者やボランティアによる清掃を行い、サービスを導入できる環境を整備
- ・家がない又はあっても居住に適さない状況の場合は、養護老人ホームや公営住宅への入居を検討

3 今後の対応案の検討

- ・まずは対象者と丁寧にコミュニケーションをとって心のケアを図る。状況に応じて健康づくり課の「こころの健康相談」の利用や、精神保健の関係機関と連携して対応する。近隣住民と対象者の関係が良好の場合は、近隣住民に見守りや同行訪問などの協力を依頼する
- ・シルバー人材センターや市内の社会福祉法人に清掃支援を相談できる場合もあるため、各機関と情報共有を図る

ケース 2

1 地域課題

アルコール依存症に係る啓発の不足や支援者側の資質向上

2 地域課題の対応の現状

- ・個別地域ケア会議などで、関係機関の対応方針の共有
- ・アルコール依存の方に対し、専門職の自宅訪問、集い等の案内

3 今後の対応策の検討

- ・介護支援専門員等の支援者や住民に対し、「依存症」に関する理解を深める機会の提供を検討